

みどり通信

第45号
2025年7月1日

2025

7

令和7 文月



いちご味

メロン

レモン

かき氷

甘露シロップ



「お中元」

秋野文子

お盆になる。

暑中見舞い、お中元の習慣は必要ないとか悪習だとかいうことでもない。

つくづく考えてしまった。

断捨離で整理した葉書、不足分の切手を貼り
<涼>と文字を書いて出した。

意外と好評だった。

静岡の従姉妹が、桜エビせんを送ってくれた。

お中元という訳でもないけれど。

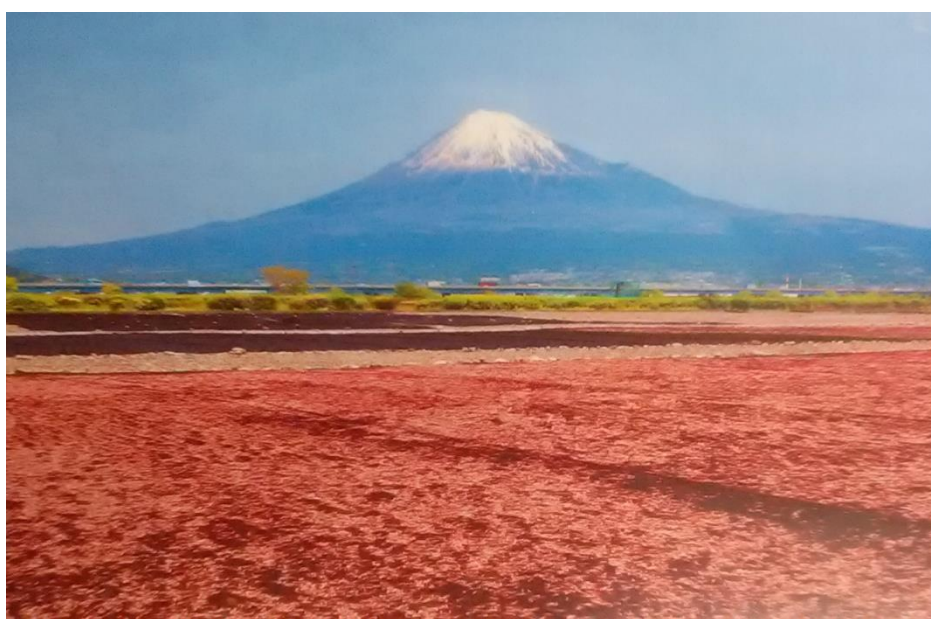
静岡の海に富士山をバックに桜エビが干される所がある。

汽車からも見えた。懐かしい光景が浮かぶ。

この夏、とにかく頑張るぞ！

秋野文子

7月13日



「モンゴルの草原」

秋野文子

モンゴルの大草原を少年か馬にまたがり疾走するシーンを見たことはあった。

相撲の話題も知ってはいた。

蒙古襲来は鎌倉時代のこと。

今回、天皇皇后両陛下がモンゴル訪問のニュースを見た。

晩餐会で合奏した曲は何だろう。中央アジアの草原にて という曲もあった。

モンゴルの水資源について見学と話し合いが持たれていた。

第二次世界の時、シベリア抑留のみならず、モンゴル抑留もあり多くの日本人がいて、中の1800人が亡くなったそうだ。

「夏野菜」

秋野文子

<茄子>



ぬか漬け

切ってフライパンで焼く。

味噌炒め



<トマト>

丸ごと食べる。

<キュウリ>



ぬか漬け

半分に折って味噌を付ける。へぼキュウリを薄切りし、塩もみして酢の物。



西瓜は野菜らしい。

葉っぱ



夏大根の辛い、おろし。

「トリエステ」

ふぁ爺

滝山病院のような存在が許されていいわけではない。
院長の朝倉のような男が許されていいわけではない。

だが、じんかれんに滝山病院はなくすことはできない。
厚生省は朝倉から医師免許を取り上げもしない。

こんなものが生じているのは日本の精神科医療の
土壌からだ。私が尊敬する K 氏は、精神科特例こそ諸
悪の根源だと指摘する。しかし医療制度を改革するこ
とは政治家でもないキャリア公務員でもない医師で
もない我々には不可能事だ。

日本から精神病院はなくなる。日本にバザーリ
アはいない。大熊さんがあんなに頑張ったって厚生省
はてこでも動かない。

われわれに出来ることは何か。

客が来なければ店はつぶれる。入院患者をなくせば
精神病院は経営が成り立たなくなる。我々に出来るこ
とは、家族を精神病院に入れないことだ。



半夏生

編集後記

台風、豪雨。

この夏も並大抵なことでは乗り切れそうもない。

土用の丑を過ぎれば、直に立秋になる。

涼しくなる訳でもないが区切りにはなる。

相模川も増水しているだろう。

秋野

midori2shin@gmail.com

